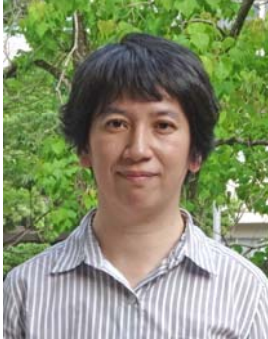


## ■講師



杉田 郁代(高知大学 大学教育創造センター 特任准教授)  
比治山大学 准教授 IR 委員長を経て、平成 27 年度より高知大学に  
着任。専門は、教育心理学と高等教育における授業づくり、学生支援。  
臨床心理士、学校心理士。

## ■プログラム概要

学生たちに接する中で、気づく疑問や違和感はありませんか。授業の中で、事務の窓口対応の中で、日々の経験の中で感じる経験知を、学内のデータを用いて検証してみませんか。データを検証することにより、予防的・開発的な学生支援の糸口を見つけることにもつながります。

本プログラムは、IR 的な要素を含みますが、専門的に IR をという人ではなく、入門編です。専門的な分析方法ではなく、アクセスとエクセルを用いた傾向を掴むことを目的とした基礎編です。日常の中で感じた経験知から仮説を立てて、データ検証を始めてみたいという方を対象にしています。学生支援や教務・学務関連の担当の教職員の方、これから IR を始める人、学生に直接かわかる事務部門の方はぜひ受講してください。

この研修では、参加者の皆さんが日ごろ感じていることを少し共有しながら、どのデータとデータを組み合わせれば、よいのかなどと一緒に検討するグループワークも含まれています。今回は、経験知から仮説を立てて、データを選択し、つなぎ合わせ、傾向を見るという一連の作業工程について学びます。

## ■主な受講対象

- ・学生支援や教務・学務関連の担当教職員。
- ・学生に関わる窓口を担当する部署の職員。
- ・データ IR ではなく、人間 IR として、学生に関わる経験知をお持ちの方も大歓迎です。

## ■本プログラムの到達目標

1. 経験知から、仮説を立て、分析を行うまでの手順を説明できる。
2. 予防的學生支援(休学・中途退学を防止する)について説明できる。
3. 予防的學生支援に必要なデータを特定し、つなぎ合わせ傾向を確認することができる。

## ■日時・会場

日時:平成28年8月25日(木)10:00~12:00

会場:愛媛大学城北キャンパス